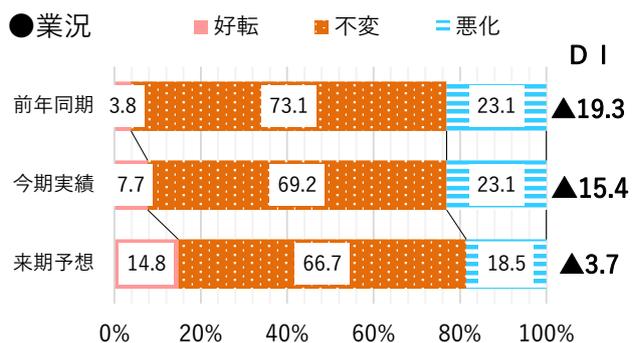


建設業

業況、売上、採算

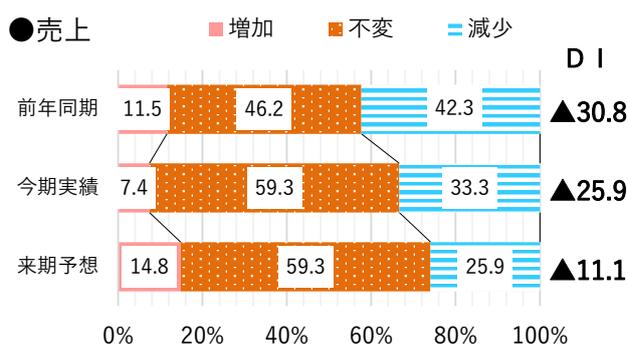
今期（2021.1～3）の業況判断DIは▲15.4で、前年同期(2020.1～3)と比べ3.9ポイント上昇しました。

来期（2021.4～6）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



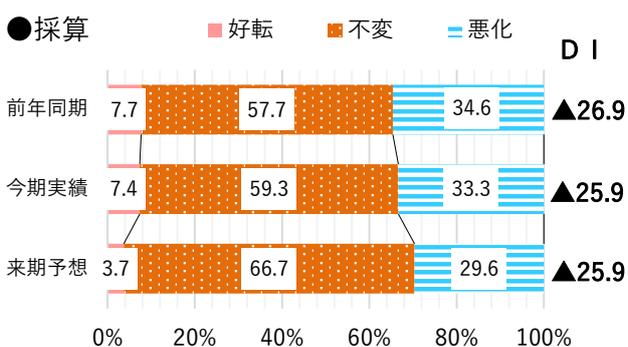
今期の売上高DIは▲25.9で、前年同期と比べ4.9ポイント上昇しました。

来期は、売上の減少傾向が弱まると予想しています。

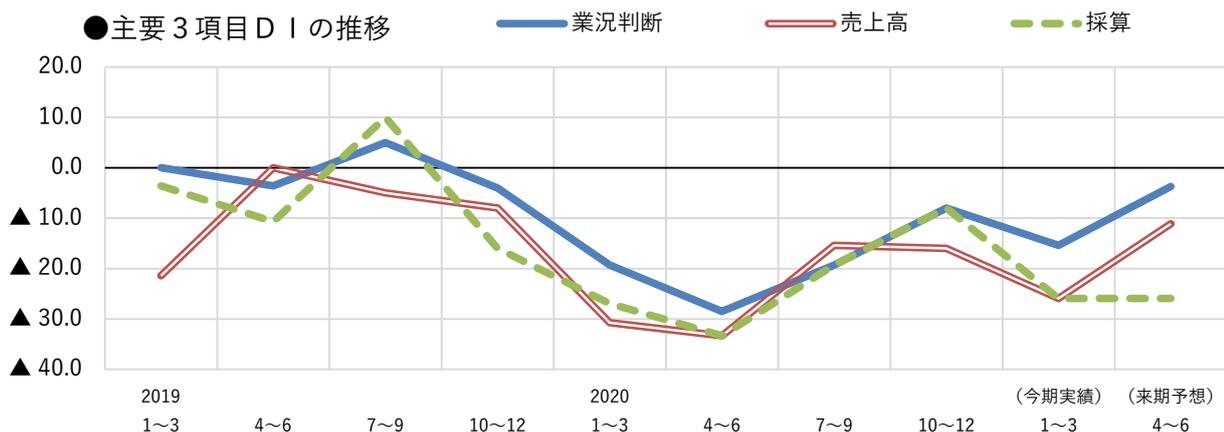


今期の採算DIは▲25.9で、前年同期と比べ1.0ポイント上昇しました。

来期は、採算の横ばいを予想しています。



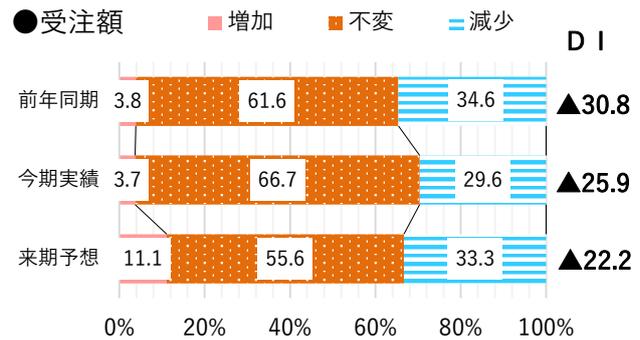
●主要3項目DIの推移



受注（新規契約工事）額、契約残（未消化工事高）、材料仕入単価

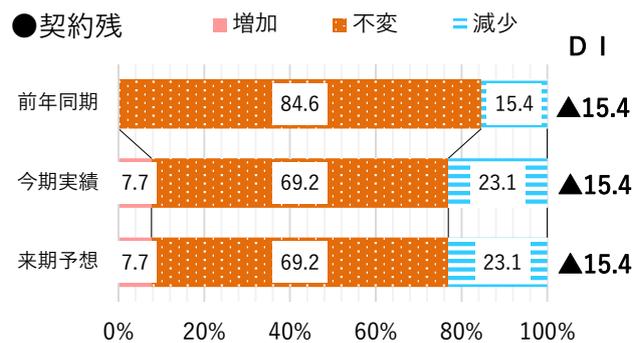
今期の受注額DIは▲25.9で、前年同期と比べ4.9ポイント上昇しました。

来期は、受注額の減少傾向が続くと予想しています。



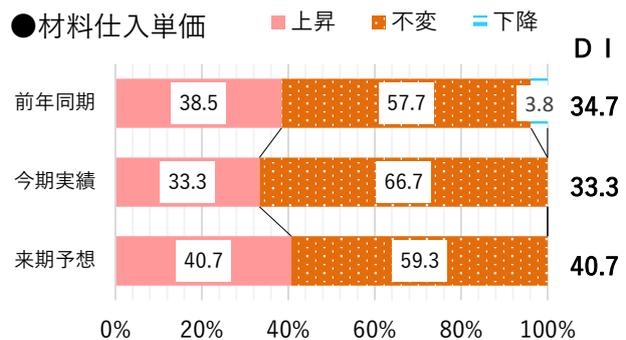
今期の契約残DIは▲15.4で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、契約残に変化はないと予想しています。



今期の材料仕入単価DIは33.3で、前年同期と比べ1.4ポイント低下しました。

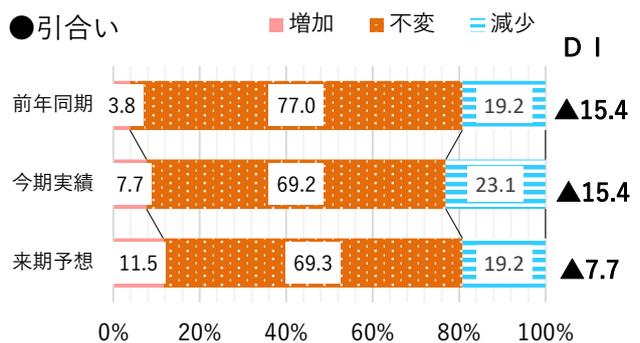
来期は、材料仕入単価の上昇傾向が強まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲15.4で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

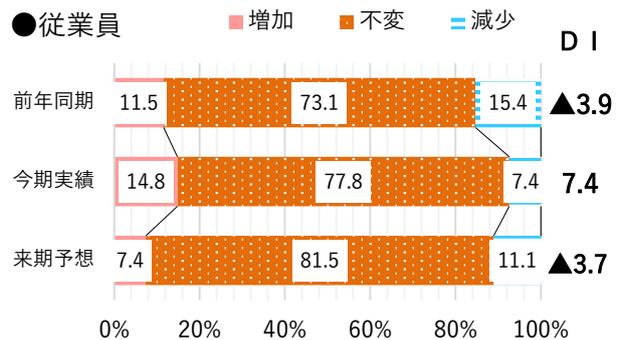
来期は、引合いの減少傾向が弱まると予想しています。



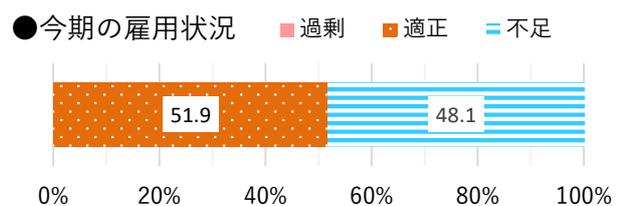
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは7.4で、前年同期と比べ11.3ポイント上昇し、増加に転じました。

来期は、従業員数が減少に転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は51.9%、不足していると回答した企業の割合は48.1%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、建設業全体の44.4%を占めています。

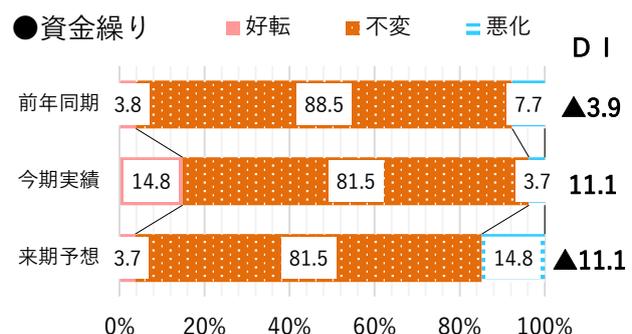
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	12
	不足	9
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

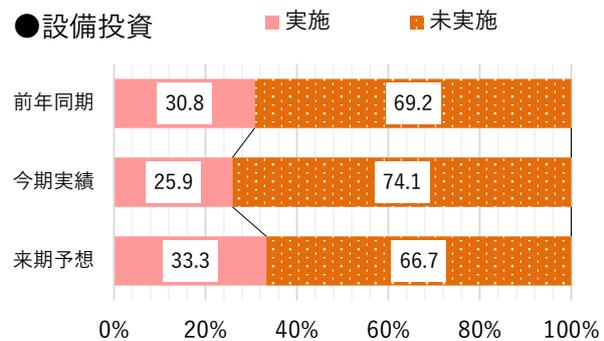
今期の資金繰りDIは11.1で、前年同期と比べ15.0ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、資金繰りが悪化に転じると予想しています。



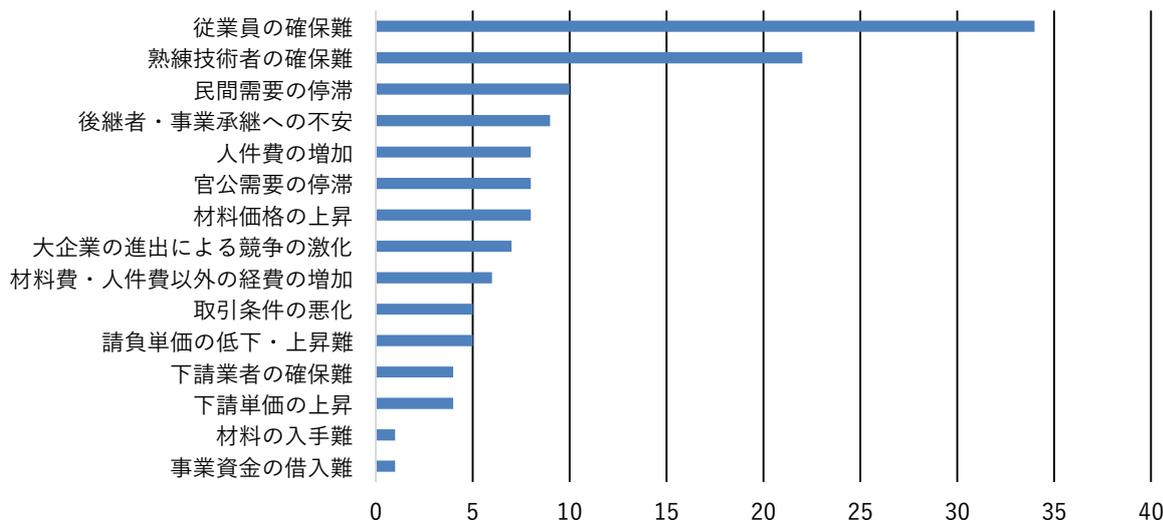
設備投資を実施した企業の割合は25.9%で、前年同期と比べ4.9%減少しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は33.3%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「熟練技術者の確保難」、3位が「民間需要の停滞」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 昨年末で大型工事が完了し、除排雪関連の仕事も少なかったため、年明け以降は修繕工事のみだった。大型工事の収入と、新型コロナウイルス関連の貸付制度で経営している状況である。人材不足だが、今後の景気動向が見通せないで、様子を見ながら人材を雇用する。(一般土木工事業)
- 冬期の受注減と新型コロナウイルスの影響で、完成工事(売上)が減少している。(一般土木工事業)
- 人材不足が課題である。(一般土木工事業)
- 業界特有の受注の波によって売上が減少した。(一般管工事業)
- 売上が30%程度減少し、他の項目も全般的に悪化した。(一般管工事業)
- ガラス工事の閑散期に当たるため、受注が減少した。(職別工事業)
- 前年同期比では悪化となるが、今年度通しての業績は前年度と比較して好転した。(設備工事業)
- 官公庁からの入札件数が減少した。(造園業)
- 人材を確保できたことで売上が増加し、業況は好転した。(電気工事業)

[来期の業況について]

- 新型コロナウイルスの動向に左右されるため、予測が難しいが、今期より悪化すると思われる。公共工事の減少や、民間企業が工事の発注を控える可能性もある。(一般土木工事業)

- 春期はやや業況が好転すると思われる。（一般土木工事業）
- 新型コロナウイルスの影響によるものか判断できないが、引合いの減少や業界全体の動きの鈍化を感じるので、業況の悪化を予想する。（一般官工事業）
- 受注が増加すると思われる。（職別工事業）
- 単発のメンテナンス業務の受注が増えると思われる。（造園業）
- 業況の持ち直しに期待する。（造園業）
- 今期の好況が続くことを望むが、コロナ禍において予想は難しい。（電気工事業）